

学習展開例

授業時間 100分




沖縄県立
総合教育センター
研究主事 甲斐 崇

新着

沖縄戦とは何か

沖縄戦の原因や全体像について、考えてみよう

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①沖縄戦に関する資料を見て、気づいたことを発表する。 ②気づいたことから学習課題をまとめる。 課題例： 「沖縄戦はどのようにして起きたのだろうか」 「なぜこのような被害が出たのだろうか」 ③学習課題に対する予想を立て話し合う。	○沖縄戦の被害の大きさ（戦死者など）が分かるグラフや表をあらかじめ準備しておく。 ○被害の大きさに注目させることで、その原因に目を向けさせるようにしたい。 ○グループなどで協議させ、児童生徒なりの予想を立てて番組を視聴する。
60分	④気づいたことをメモしながら番組を視聴する。  <p>視聴 沖縄県浦添市の海岸沿いに位置する広大な米軍基地・牧港補給地区</p>  <p>失われたふるさとを子や孫に伝えたいという思いから復元された、小湾集落の町並みの模型</p>	○授業は2時間扱いとし、番組は全て視聴する。 ○学習課題に関するヒントや回答になりうる部分や、大切だと思う内容については、メモを取ったり、ノートにまとめたりするように指示する。 ○「沖縄の住民」、「日本軍」、「アメリカ軍」とそれぞれの立場や視点に分けて考えさせるために、それぞれの行動や考えに注目させてもよい。 例：沖縄の住民がとった行動 日本軍が行なったこと、アメリカ軍が行なったことなど
20分	⑤学習課題に関して分かったことをまとめ、グループ内で協議する。 ⑥話し合った内容を発表する。	○番組内のどの場面や内容からなのか、根拠をもとに話し合うようにする。また、必要に応じて教科書や資料集などの補助資料も活用させるようにする。 ○沖縄戦の全体像や通史を押さえる学習課題であれば、「戦前」、「戦中」、「戦後」と、時期を分けて起きたことを整理するとよい。
10分	⑦現在の沖縄の基地問題の状況を伝え、沖縄の人々にとって「沖縄戦」とは何だったのか、考えたことや思ったことをノートやワークシートにまとめる。 ⑧グループ内や全体で発表する。	○学習全体を振り返り、沖縄戦後すぐに始まった基地建設や、その後続く米軍統治、現在も米軍基地が集中している沖縄の状況を踏まえた上で、沖縄戦とは何だったのかを考えさせたい。

コラム

平和教育の番組などに関連させて

NHKでは、ホームページ「戦争証言アーカイブス」(http://www.nhk.or.jp/shogenarchives/special/vol13.html#sd1_1)で沖縄戦について取り上げ、戦争の経過や証言などを動画で紹介しており、沖縄戦について総合的に学習することができます。さらに学習を深めたいときは、ティーチャーズ・ライブラリー「平和」の関連番組、「沖縄戦の絵～戦後60年・体験者が描いた戦場～」（2015年度版P.26）、『沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』（2009年度版P.34～P.37）、『兵士たちの戦争 住民を巻き込んだ悲劇の戦場』（2011年度版P.24）などをお勧めします。これらを組み合わせることで平和学習を効果的に進めることができるでしょう。